

令和6年度 国分寺学 実践事例集

国分寺市立第四小学校



目次

きせつとなかよし はる	2
きせつとなかよし なつ	3
きせつとなかよし あき	4
パークレンジャーに学ぼう	5
とび出せ！町のたんけんたい	6
わくわく国分寺探検隊！～人・まち編～	7
野川源流スクール	8
レッツゴー！国分寺調査隊～環境編～	9
季節と生物	11
レッツゴー！国分寺調査隊～福祉編～	12
赤米博士になろう！	13
国分寺の魅力を発信しよう	14
こち国リターンズ	15
伝統文化を学ぼう	16

国分寺！いいかんじ！①	17
国分寺！いいかんじ！②	18
ふたベジを育てよう①	19
ふたベジを育てよう②	20
I・IV・V・Iの和音で旋律づくり	21
I love my town.～国分寺の魅力を伝えよう！～	22
およその面積と体積	23
エコバッグのデザイン画づくり	24
炭と水から広がる世界～わたしたちのまち国分寺～	25
炭と水から広がる世界～わたしたちのまち国分寺～	25
整理整とんで快適に	26

それぞれの実践事例のページに検索のキーワードとなるハッシュタグをつけました。
PDFの検索窓に知りたい内容のキーワードを入力してご活用ください。

〈検索のキーワード〉

#自然 #公園 #環境 #町 #商店 #ICT #福祉
#歴史 #文化 #食育 #発信

きせつとなかよし はる

実施学年：第一学年

実施時期：5月中旬

教科：生活科

活動の概要

学校に隣接する武蔵国分寺公園は、幼稚園・保育園で散歩やイベントで利用したり、家族で遊びに行ったりと子どもたちにとって身近な公園です。入学して初めての屋外活動の場として武蔵国分寺公園を選び、生活科「きせつとなかよし」を展開していくことにしました。

今回は、入学して間もないため、個々に植物や生き物などを探しました。

学習の様子

校庭から東門を通して、こもれば広場へ行きました。

公園に入る前から周りをあちこち見ていました。

学習計画(4時間扱い)

- ① 公園へ出かけることを知り、どんなものが見つけられそうかを話し合う。
- ② 武蔵国分寺公園で春を探す。
- ③ 見つけたものをカードにかき、友達と見つけたものについて伝え合う。

ダンゴムシ発見！



あっちに
なにかあるかも！

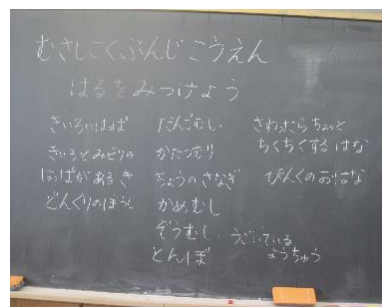


かんむり
つくれるかな？



学習を終えて

初めての野外活動でしたが、子どもたちは生き生きと動き、たくさんの草花や生き物を見付けていました。出会って1か月ではありましたが、近くの友達に声をかけて見つけたことを伝えたり、遊びを通して新たな関係を築いたり、様々なかかわりをもっていました。観察カードに、心に残ったことを絵で残しました。でき上がったカードを見せ合って振り返る子たちもいました。



きせつとなかよし なつ

実施学年：第一学年

実施時期：9月初旬

教科：生活科

活動の概要

夏になり、春に行った武蔵国分寺公園の様子を思い出し、夏になったらどんな生き物がいるかを考えました。見付けたものをカードに描くこと、気付いたことをメモにとりました。振り返りでは、見付けたものだけでなく、季節の変化も話し合いました。

夏の遊びとして、水遊びも行いました。水を使って絵を描いたり、ペットボトルなどの容器を使って水をかけ合ったり、それぞれが夏を楽しみました。

学習の様子

こもれび広場で夏を探しました。いろいろな虫や植物など春にはいなかった生き物を見付けて喜んでいました。

暑さに負けず、水遊びも楽しみました。

コオロギ見つけた！



この栗、緑色だ！



気付いたことが、書けるようになったよ。



セミの抜け殻だよ。



水で絵を描くよ。

学習を終えて

春と夏を比べて、たくさんの気づきがあったようです。カードは、ひらがなを学習したので、文章で気づきを少しずつ表現できるようになりました。話型を使用することで、話し合い活動も春より充実しています。3か月間での成長を感じます。水遊びも自分たちで何ができるかを考え、楽しんでいました。

きせつとなかよし あき

実施学年：第一学年

実施時期：11月中旬

教科：生活科

活動の概要

春・夏に続き、学校に隣接する武蔵国分寺公園で、秋の植物、生き物を探しに行きました。夏との違いに注目しながら活動をするよう、事前に指導を行いました。

また、今回は「あきのおもちゃづくり」で使用するどんぐりや落ち葉も、一緒に拾う活動を行いました。

学習の様子

校庭から東門を通過って、歩道橋を渡り、円形広場へ。
どんぐりや落ち葉は落ちていないか、一生懸命探す一年生。
続いて横断歩道を渡り、こもれび広場へ。
夏と秋との違いも探しながら散策をしました。

学習計画(6時間扱い)

- ① 秋の公園では、どんなものが見付けられそうか、また、春、夏との違いについても話し合う。
- ② 武蔵国分寺公園で秋を探し、どんぐりや落ち葉を拾う。
- ③ 見付けたものをカードにかき、友達と見付けたものについて伝え合う。
- ④ 拾ってきたどんぐりや落ち葉を使って、秋のおもちゃづくりをする。

柿の色が変わった！



茶色の栗が
落ちているよ！



羽根つきの
羽根の黒い玉に使うよ。



どんぐり
たくさん見付けたよ！



学習を終えて

夏、秋との違いについて、夏に作成したマップを見ながら学習を行いました。「秋は、公園全体が茶色になっている。」「虫などの生き物が、夏に比べて少ない。」など、子どもたちは気付いたことを発表していました。自分が見付けたものをカードに描き、秋の公園マップを作成しました。
また、どんぐりや落ち葉を使っておもちゃを作り、友達と一緒に楽しく遊びました。



生活科「みんな生きている」

パークレンジャーに学ぼう

～武蔵国分寺公園にいる生き物～

実施学年：第二学年

実施時期：6月中旬

教科：生活科

ゲスト：武蔵国分寺公園パークレンジャー

活動の概要

身近に生息する生き物の種類や場所について話し合い、武蔵国分寺公園にはどんな生き物がいるのかパークレンジャーに教えてもらう活動を行いました。むさしの池、バッターランドにいる生き物を教えてもらい、武蔵国分寺公園の環境を保全するために外来種の草取りのボランティアを行いました。学校に戻り、パークレンジャーの話の思い出し、武蔵国分寺公園生き物マップを作成しました。

学習計画(4時間扱い)

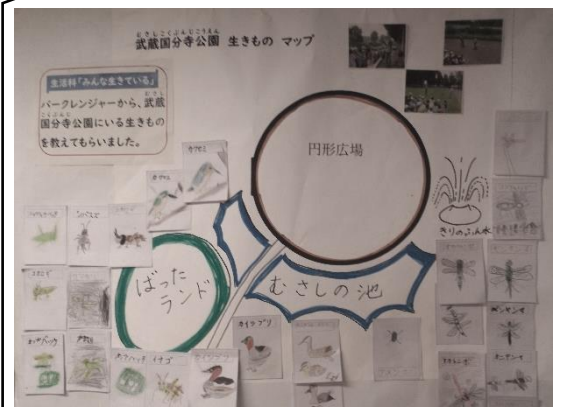
- ①身近にどんな生き物がどんな場所にいるかを話し合う。
- ②③武蔵国分寺公園にいる生き物についてパークレンジャーに教えてもらう。
- ④パークレンジャーに教えてもらったことを思い出して生き物マップを作る。

活動の様子

パークレンジャーに、武蔵国分寺公園にいる生き物を教えてもらいました。



武蔵国分寺公園生き物マップ作り



学習を終えて <児童の感想>

- ・武蔵国分寺公園のことをいっぱい知ることができてうれしかったです。
- ・いろいろな生き物がたくさん住めるほどいい場所なんだなあと思いました。
- ・いろいろな虫や生き物がいるって分かったと楽しいなと思いました。
- ・パークレンジャーの人がトンボの種類を教えてくださいました。たくさん種類があると思いました。
- ・池には、いろいろな生き物がいることが分かりました。
- ・珍しいカイツブリを見れてうれしかったです。すぐに池に潜ってしまいました。カイツブリは泳ぐのがうまいなあと思いました。

とび出せ!町のたんけんたい

実施学年：第二学年

実施時期：6月中旬

教科：生活科

協力：地域の施設、店の方々

保護者ボランティア

活動の概要

生活科「とび出せ!町のたんけんたい」の学習で、自分たちの町で知っている場所やおすすめの場所を発表し合うことを通して、知らない場所があることに気付かせ、町探検への意欲につなげました。その後、学級ごとに町探検(地域めぐり)に出かけました。学校に戻り、探検カードを書き、活動を振り返り、見付けたことを色別付箋に書いて「町のすてきマップ」に貼り、完成させました。(黄色の付箋→お店、学校、施設。ピンクの付箋→出会った人。水色の付箋→気付いたこと、見付けたこと。)その後、完成したマップを見て、気付いたことや、更に知りたいことを共有させ、3学期に行うグループごとの町探検につなげました。

学習計画(9時間扱い)

- ① 自分たちの町のおすすめのものを場所を紹介する。
- ② 探検のルートを知る。
- ③④探検に行く。
- ⑤探検カードを書く。
- ⑥⑦町探検マップを作る。
- ⑧⑨マップを見て、気付いたこと、更に知りたいことを発表する。

学習の様子



地域めぐりした場所

- ・いずみプラザ(健康センター)・都立多摩図書館・日本芸術高等学院・国分寺保育園・ドラッグストア・スポーツクラブ・交番・国分寺市役所・消防署

とび出せ!町のたんけんたい「町のすてきマップ」作り



学習を終えて(児童の感想)

- ・交番の人に「こんにちは」と言ったら「こんにちは。気を付けてね。」と言ってくれました。みんなの安全を守っているんだなあと思いました。
- ・よく見ると、いろいろな看板があって、人もたくさんいました。
- ・武蔵国分寺公園は、広いと思いました。
- ・マンホールがいっぱいありました。
- ・春に武蔵国分寺公園に探検に来た時にいたアメンボがいなくなっていました。

- ・交番の横には、オートバイが置いてありました。
- ・図書館の近くには、いっぱい緑や花がありました。
- ・ラーメン屋さんからいいにおいがしました。
- ・こんなにたくさんお店があるんだなあと思いました。
- ・町には、いろいろな場所やお店があると分かりました。
- ・駅の近くに交番があって、安心安全だと思いました。
- ・ドラッグストアは、早い時間からやっていました。
- ・図書館には、本がいっぱいありました。

わくわく国分寺探検隊！ ～人・まち編～

実施学年：第三学年

実施時期：6月～7月

教科：総合的な学習の時間

協力：地域の施設、店の方々

保護者ボランティア

活動の概要

社会科「学校のまわりをたんけんしよう」の学習で、土地・建物・交通の様子について調べてまとめた後に、もっと調べたいことについて話し合い、総合的な学習の時間の学習につなげました。総合的な学習の時間では、視野を広げて「人」にも着目して調べることにしました。

探検当日は、保護者ボランティアを募って各グループについていただき、1時間半で2,3か所探検しました。

探検後は、写真を見せながら保護者や友達に調べたことを発表したり、カードに書いて模造紙のマップに掲示したりしました。

学習の様子

【スーパーマーケット】

バックヤードや大きな冷蔵庫、お店の人が調理しているところも見せてもらったよ。思ったよりもたくさんの人が働いていて、たくさんのお客さんが来るのが分かったよ。



学習計画(21時間扱い)

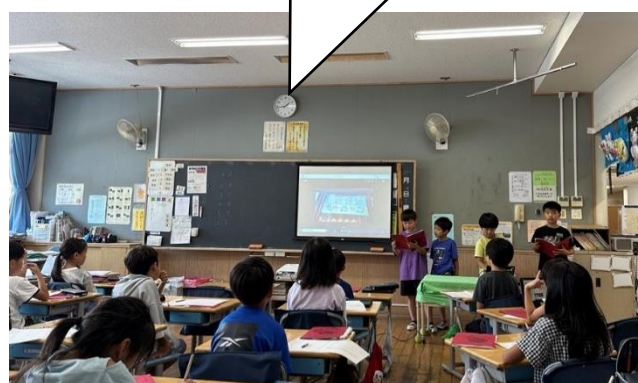
- ① オリエンテーション
- ② グループに分かれて、調べるテーマや行き先を決める。
- ③ 探検の計画を立てる。
- ④ 探検に行く。
- ⑤ 調べたことをまとめる。
- ⑥ 発表する。
- ⑦ マップに掲示する。



【発表の様子】

緊張したけれど、選んだ写真を見てもらって、探検したことを伝えることができて楽しかったよ。友だちの発表は、知らないことがたくさんあって、面白かったよ！

【都立多摩図書館】
「こどものへや」
があったよ。



学習を終えて

初めての総合的な学習の時間の学習ということもあり、自分たちで課題設定することやグループでの話し合いに戸惑う様子が見られました。しかし、実際に見たり、聞いたりしたことで学習意欲が高まり、単元が終わる頃にはグループで協力して話し合い、自信をもって発表する姿が見られました。グループごとにテーマや行き先が違うので、教員が適度に入って把握、調整することが重要でした。また、見学施設や店へ連絡、保護者ボランティアの調整などが難しく、日程に余裕をもって計画する必要があると感じました。地域や保護者の方々との関わりを深めることができて、子どもにとっても教員にとっても大変貴重な機会となりました。

野川源流スクール

実施学年：第四学年

実施時期：4月下旬

教科：総合的な学習の時間

ゲスト：まちづくりサポート国分寺

活動の概要

小金井市、三鷹市などに流れる野川は国分寺市を源流とする一級河川です。野川の環境保全を目的として活動する「まちづくりサポート国分寺」の皆さんに、野川の秘密を教えてくださいました。

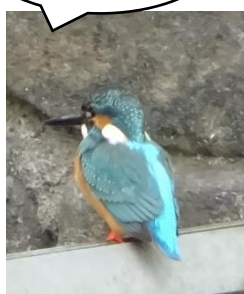
1時間目は、野川の動画やテキストを見ながら教室で概要について学び、2～4時間目には、実際にフィールドワークに出かけました。5・6時間目は再び教室に戻り、見つけたことを地図にまとめました。

学習の様子

フィールドワークのスタートは武蔵国分寺公園から。



カワセミがいました！



普段は入ることのできない場所に特別に入れてもらいました。



学校に戻ってガリバー地図づくり。



不動橋のところには鯉がいたよね。

湧き水がとってもきれいだったね！



学習を終えて

「レッツゴー国分寺調査隊～環境編～」につなげるため、今年度は1学期の最初に実施することにしました。4年生にとっては少し難しい内容もありましたが、一生懸命話を聞いていた子どもたち。ハケの地形と湧き水の関連を知り、驚いていました。身近なところにたくさんの自然があることに気付き、自然を大切にしようという気持ちも高まった様子でした。

レッツゴー！国分寺調査隊 ～環境編～

実施学年：第四学年

実施時期：6月下旬～9月上旬

教科：総合的な学習の時間

協力：地域の環境ボランティア
市役所・公園の方 他

活動の概要

社会科の学習で「水はどこから」「ごみはどこへ」について学びました。その後、身の回りの環境問題に関してテーマを設定し、グループごとに調査活動を行いました。インタビューする、アンケートを取る、見学して写真を撮るなどの調査活動を自分自身で行うことを課題としました。（インターネットや書籍による調査活動も認めましたが、そのみを調査とすることは認めないこととしました。）調査活動を1回で終わらせるのではなく、新たに出てきた疑問についてさらに調べるように促し、探究的な学びの充実を意識して取り組みました。

学習計画（17時間扱い）

- ①②調査のテーマ・グループ決め
- ③～⑥調査活動
- ⑦～⑨中間発表に向けた検討・準備
- ⑩中間発表
- ⑪～⑭再調査・本発表準備
- ⑮⑯発表会
- ⑰単元の振り返り

他の学習との関連

社会：「水はどこから」（4月）

水道キャラバンを実施し、暮らしに欠かせない水がどのように自分たちのところに届くのか学習した。

総合的な学習の時間：「野川源流スクール」（4月）

まちづくりサポート国分寺の方に野川の現状についてお話していただいた後、フィールドワークに出かけた。野川をめぐる地域環境について学習した。

社会：「ごみはどこへ」（5月）

ごみ処理についての単元。浅川清流環境組合にて、可燃ごみの処理の様子を見学した。また、ハイキー（国分寺市の廃棄物について考える会）の出前授業をしていただき、ごみの具体的な捨て方について学習した。

レッツゴー！
国分寺調査隊
～環境編～

総合的な学習の時間・図画工作 「エコバッグを作ろう」

（9月～11月）

本単元で学んだことを図画工作でポスターを作成し、それをプリントしたエコバッグを国分寺まつりで販売しました。

国語：「お礼の気持ちを伝えよう」（6月）

お礼の気持ちを伝える手紙の書き方を学習した。そのことをいかして、ゲストとして学習に協力して下さった地域の方や市役所、学校職員にお礼の手紙を書いた。

国語：「アンケート調査の仕方」（7月）

アンケートの目的や結果の分析方法について、教科書の例示を参考にしながら本単元の調査活動にいかした。

グループ調査の例

国分寺の自然はだれが守っているのか。

国分寺にふるさとをつくる会の方にお話を聞いて
姿見の池と日陰山の自然をどのように保全しているかを調査しました。



学校のごみはどのように処理されているのか。

学校のごみ置き場の様子を見学したり
各教室から出るごみの状況について調査したりしました。



節水をどれくらいしているか。

クラスの友達と保護者に
節水取り組み状況に関するアンケートを取り、傾向を探りました。
どんな節水が効果的か考え
実際に試す活動を行いました。



学習の様子

テーマが決まったらグループごとに調査の計画を立てました。



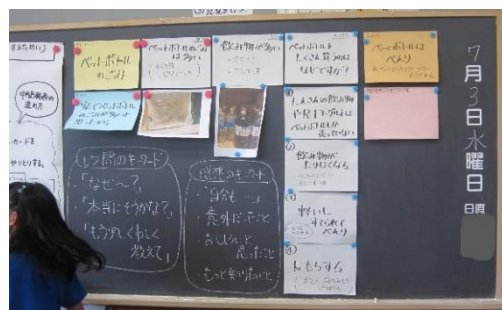
ものを修理して使うことについて調べているグループのインタビュー調査



これまで調査したことをいったんホワイトボードでまとめよう。



中間発表は「K P法（紙芝居プレゼンテーション）」の手法を使って行いました。



授業公開で発表を行いました。



学習を終えて

グループごとに調査内容が違っているため、子どもたちの興味・関心に合わせて外部団体への協力を依頼することにしました。市のボランティア団体や武蔵国分寺公園の方、市役所の方など多くの方にご協力いただきました。子どもの学習の進み具合に合わせて関連団体の方に日程を調整していただく必要がありましたが、ご協力いただいたおかげで充実した学習ができました。

地域をフィールドとした調査活動では、子どもたちが放課後などに自主的に町に出かけ、調べる活動も行いました。例えば、道にポイ捨てされているごみを数えたり、店でのフードロス対策を見て調べたりする活動です。これらについては、事前に調査活動のマナーや進め方について指導をしました。

子どもたちが自主的に進められるよう、様々なサポートや事前指導が必要だと感じました。日頃から地域の方や保護者とよい関係性を築いておくことも大事だと思いました。

季節と生物

実施学年：第四学年

実施時期：4月・7月・11月・2月

教科：理科

活動の概要

学校の隣に武蔵国分寺公園があるという好立地をいかし、季節ごとの自然観察を行っています。

児童は、自分の観察する木を決め、その木を中心とした定点で写真を撮ります。同じ場所を繰り返し撮影することで、変わるものと変わらないものがあることに気が付きました。自分の木を撮影し終わると、その季節にしか見られない植物や虫などを探します。

普段遊んでいる公園を科学的な視点で再度見直すきっかけとなっています。

学習の流れ

※内容の詳細は季節の各単元による。

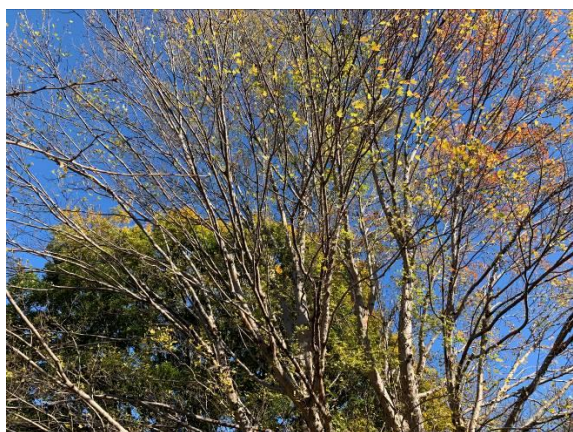
- ①その季節の特徴について予想する。
- ②武蔵国分寺公園で観察を行う。
 - ・自分の木の写真を撮る。
 - ・その季節にしか見られないものを写真に撮る。
- ③タブレットに保存し、前の季節と比較する。

学習の様子

春の様子



秋の様子



学習を終えて

何度も同じ場所に出かけて観察することで、変化がよく分かります。1人1台端末があることで充実した学習を行うことができました。SKY MENU Cloudの発表ノートに1年間少しずつ写真を貼り付けていきました。長い時間をかけて発表ノートを作り上げていくことで、学習が深まっています。

レッツゴー！国分寺調査隊 ～福祉編～

実施学年：第四学年
実施時期：11～12月
教科：総合的な学習の時間
ゲスト：リオネット補聴器
アンバサダーYUMIEさん
協力：保護者ボランティア

活動の概要

福祉学習の大きなテーマとして「だれもが幸せに生きるには」という問いについて考えながら学習を進めました。

まず、保護者ボランティアに協力いただき、校内でアイマスク体験を行いました。子どもたちからは体験して感じた疑問や発見がたくさん語られました。その後、補聴器利用者のYUMIEさんにご講演いただき、児童は体験談から様々なことを感じ取っていました。

後半は調査活動を行いました。体験や講演会をきっかけに、個人でテーマを設定し、本やインターネットで調査を行いました。身の回りのバリアフリーを調べたり、インタビュー調査を行ったりする児童もいました。

学習計画(12時間扱い)

- ①学習の概要の確認
- ②③アイマスク体験・白杖体験
- ④体験のふり返り
- ⑤補聴器利用者 YUMIE さんによる講演会
- ⑥調査活動のテーマ決め
- ⑦～⑩調査活動
- ⑪調査報告会
- ⑫単元のまとめ

学習の様子

YUMIEさんの使用する補聴器は四小のすぐ近くにあるリオネットという会社が作ったもので、毎年社会科見学でお世話になっています。



体験活動後には、グループで振り返りを行いました。友達と話し合うことで、感じたことをより具体的にイメージしながら思い出すことができました。

学習を終えて

体験活動や当事者のお話を聞く活動は、児童が実感をもって福祉を学ぶのに有効だと感じました。福祉体験に関しては、日本赤十字社を通して体験用のグッズを借りることができるので、今後も利用していきたいです。「レッツゴー国分寺調査隊～福祉編～」の学習を通して、児童は身近な場所にもいろいろな工夫があることに気が付きました。例えば、校舎内にあるスロープや点字ブロック、だれでもトイレなどです。社会の様々な仕組みが「だれもが幸せに生きるには」という問いにつながっていることに改めて気付いた様子でした。

赤米博士になろう！

実施学年：第五学年

実施時期：4月～7月（1学期間）

教科：総合的な学習の時間、社会科

ゲスト：国分寺赤米プロジェクトの方

活動の概要

赤米は古代米と呼ばれており、在来品種の赤米は全国的に見ても幻の存在となっています。1997年に国分寺市で原種と見られる赤米の種粃が見つかり、現在も有志により赤米の育成が受け継がれています。

単元導入では、ゲストティーチャーから赤米の歴史や特徴などについて動画や資料を見ながら学びました。それ以降の学習では実際に赤米を育てたり、自分の興味関心から赤米について課題を設定し調べ学習をしたりして学習を進めました。単元終盤では、それまでの学習内容を数枚の提示資料(PowerPointを使用)にまとめ、発表しました。

学習の様子

赤米プロジェクトのスタートは 譲っていただいた種粃で芽出し。
まず赤米について知る部分から。 社会科とも関連させました。



赤米づくりの土づくり。
一人一つバケツを用意します。



芽出しをした稲が成長してきたのでバケツに植替えました。

ゲストティーチャーの先生に再度来校 単元のまとめとして資料の作
していただき収穫について学びました。成・発表をしました。



学習を終えて

赤米を初めて知り、赤米について調べたことで、今まで食べていたお米についても、歴史や育て方などたくさんのことが分かりました。これからも赤米を大切にしようと思いました（児童のふりかえりより）

教科横断的に社会科や家庭科の学習とも関連させながら、本プロジェクトを展開しました。国分寺が誇る古代米「赤米」をこれからも守っていきたいという思いを多くの子どもがもつことができたように感じています。

国分寺赤米プロ
ジェクト HP



国分寺の魅力を発信しよう

実施学年：第五学年

実施時期：9月～12月（2学期間）

教科：総合的な学習の時間、社会科、外国語科

ゲスト：国分寺市観光協会の方、
国分寺観光大使 「荒川ケンタウロス」

協力：保護者ボランティア

活動の概要

「国分寺市の魅力とは何だろう?」ここから本単元はスタートしました。国分寺市という身近な地域教材を活用し、国分寺市の魅力を調べ、他へ発信する本単元。地域のもつよさや地域の特長などを考え、身近な地域に関心をもち、地域についてより興味を抱かせたいと考えました。

単元導入部では、国分寺市関連の動画を視聴したり、資料を調べたりしながら、国分寺市のもつ魅力を大まかに把握しました。次に保護者の協力のもとフィールドワークにも出掛け、まちの人へインタビューを行ったり、写真を撮影したりしながら、自分の足を使って、地域の現状を調べました。

調べ学習やフィールドワークから明らかになった国分寺市の魅力をグループで考えを出し合い、より磨きをかけて、1枚のポスターにまとめていきました。また外国語科の学習とも関連付け、海外の方でも内容が分かるように、表記を工夫したポスターを作成しました。

単元終盤では、それぞれが作成したポスターについて、内容や工夫した部分、作成する背景にある想いなどを PowerPoint で発表資料を作成し、学校公開日に保護者に向けて発表しました。

学習計画(20時間扱い)

(単元導入部)

・資料で調べたり、動画を視聴したりし、国分寺市の魅力は何か考える。

(単元展開部)

・フィールドワーク(学区内中心)
・テーマ・グループ設定、調べ学習

(単元のまとめ)

・国分寺市の魅力をポスターで発信する。(外国語科とも関連させて、英語版も作成)
・ポスターの内容、作成の背景にある想いなどを発表する。

学習の様子

保護者の協力のもと、国分寺市内をフィールドワーク。



グループごとに、テーマを設定し、ポスター内容の検討。



学校公開に合わせて、ポスターと想いを発表しました。



学習を終えて

※グループごとにポスターを見せ合ったり、作成の背景を聞いたりしたことで、自分たちが考えていたこと以外にも魅力がたくさんあることが分かりました。(子どもの振り返り資料より)

1学期同様、教科横断的に外国語科と関連させながら、本単元を展開しました。国分寺市がもつ魅力が子どもたち自身がまず知り、「子育てがしやすい」、「自然があふれている」、「歴史的遺産が多い」など魅力を発見しました。学習の振り返りなどから地域への愛着がより深くなった様子が感じられました。

こち国リターンズ

実施学年：第六学年

実施時期：4月～5月

教科：総合的な学習の時間

活動の概要

5年生の総合的な学習の時間で、四小付近に新庁舎が建てられることをきっかけに、相手意識をもって国分寺市をPRしようという「こちら国分寺市役所政策部市政戦略室まちの魅力企画担当四小出張所（こち国）」を学習しました。

今年度は市制施行60周年記念行事として「国分寺60ショート動画フェスタ」に四小6年生の作品を出展することになり、昨年度の「こち国」の経験をいかして、四小学区の魅力をショート動画でPRしました。

学習計画（6時間扱い）

- ①学習の概要の確認をする。
- ②動画づくりの計画を立てる。
—各自で写真集め—
- ③～⑥動画作成をする。

学習の様子



児童のタブレットに入っているアプリで作成しています。

自分たちで集めてきた国分寺の魅力を、動画にまとめました。海外の人に紹介することを考え、英語を取り入れる班もありました。

学習を終えて

作成した動画は学級の中で投票を行い、学級代表を決めました。その学級代表の動画を校内の教員や児童に投票してもらい、学校代表を決め、「国分寺60ショート動画フェスタ」に出展しました。

昨年度のこち国では、「どんな人に向けてどんな方法でPRするとより国分寺市の魅力が伝わるか」という相手意識をはっきりさせて学習を進めたことで、ショート動画を作る際も「誰に観てもらうか」を頭に入れながら学習を進めており、「自分たちが国分寺の魅力を発信していく」という意識をもって、自分事として捉えながら作成できていたと思います。

伝統文化を学ぼう

実施学年：第六学年

実施時期：9月～10月

教科：総合的な学習の時間

ゲスト：国分寺市伝統文化子ども教室の方々

活動の概要

国分寺市で現在も受け継がれている伝統文化について知り、課題を設定して調べ学習を行いました。また、実際に「国分寺市伝統文化子ども教室」の講師の先生を中心に来ていただき、それぞれ興味をもった伝統文化の体験をさせていただきました。今年度は剣詩舞、詩吟、箏、書道、日本舞踊、生け花、和装の7つのコースに分けられました。

昔から受け継がれているものを守っていきたいという講師の先生方の思いにも触れました。

学習計画(10時間扱い)

- ①伝統文化について知る。
- ②自分が興味をもった伝統文化を一つ選ぶ。
- ③課題を設定する。
- ④～⑦調べ学習をする。
- ⑧⑨伝統文化を実際に体験する。
- ⑩まとめをする。

学習の様子



学習を終えて

なかなか体験する機会のない「伝統文化」ですが、実際に講師の先生に教えてもらったことで、興味をもつことができた児童がたくさんいました。また、講師の先生に質疑応答させてもらう時間を取り、「なぜ先生をやろうと思ったか」「国分寺の子どもたちへの願い」などを聞きました。

3学期の国分寺学×キャリア教育の単元「自分を見つめて」につなげていきたいと思っています。

国分寺！いいかんじ！①

～まちのいいところ、探すの大事！～

実施学年：第一学年～第六学年

(さつき学級)

実施時期：4月～7月

教科：総合的な学習の時間、生活科等

活動の概要

さつき学級では、通常の学級で行っている学習内容を基に、児童の実態に合わせて内容を変更したり工夫したりしながら取り組んでいます。国分寺学においても、体験型学習や調べ学習などの授業を中心に進めることで、児童が主体的に学べるように工夫しています。

学習の様子

児童の実態に合わせた指導例

- ・進行具合を図や表などを使って視覚的に提示することで、見通しをもって取り組ませる。
- ・課題の遂行過程を短時間でできるように細かく分けて、各過程の終了ごとに達成感を味わえるようにする。



第一学年

武蔵国分寺公園で春探しをして、公園に咲く草花などを知ることができました。



第二学年

大きなとうもろこしが国分寺で採れたものだを知り、とても驚いていました。



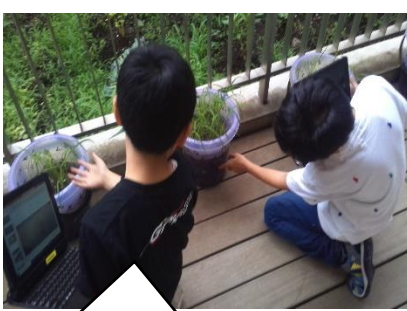
第三学年

国分寺で採れた枝豆の枝からさやを取りました。給食でおいしく食べました。



第四学年

野川での学習を通して、身近な自然を大切にする気持ちを高められました。



第五学年

バケツを使った赤米作りを通して、赤米の歴史や受け継いでいこうとする人の思いをすることができました。



第六学年

日光移動教室を通して、国分寺を新しい視点で見直すきっかけが得られました。

学習を終えて

児童個々の特性に応じた工夫を取り入れた上で、少人数で活動できるメリットを生かした体験型学習を中心に授業を進めることで、子どもたちが生き生きと国分寺の理解を深める様子が見られました。

国分寺！いいかんじ！②

～まちのいいところ、探すの大事！～

実施学年：第一学年～第六学年

(さつき学級)

実施時期：9月～12月

教科：総合的な学習の時間、生活科等

活動の概要

さつき学級では、通常の学級で行っている学習内容を基に、児童の実態に合わせて内容を変更したり工夫したりしながら取り組んでいます。1学期に進めていた国分寺学の学習で学んだことをいかし、2学期も体験型学習や調べ学習を主体的に進めました。

学習の様子

児童の実態に合わせた指導例(高学年)

・学習の成果をまとめる際にタブレットを使用することで、書字に抵抗感がある児童も主体的に学習に取り組みやすくなったり、抵抗感がなくなったことで学習意欲が向上したりした。



第一学年

地元の幼稚園児へのプレゼント作りの材料としてどんぐりを拾いました。



第二学年

黒鐘公園で秋探しをしました。国分寺に咲く花や草木、虫等を見付けました。



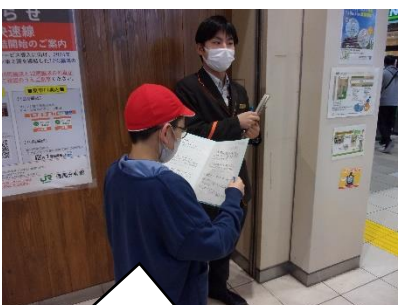
第三学年

プレイステーションの遊具で遊びました。自分たちで工夫して遊びを考えました。



第四学年

調べ学習の一環でインタビューを行ったり、地域を巡ったりしました。



第五学年

各自の学習課題に応じて、児童が学習計画を立てて主体的に活動を行いました。



第六学年

伝統文化についての調べ学習や、文化体験の感想等を発表しました。

学習を終えて

2学期は、目的意識(何のために調べるのか)や相手意識(誰に伝えるのか)などを意識して学習に取り組む児童が増えました。集大成の3学期に向けて、児童が主役の学習を進めていきます。

ふたベジを 育てよう

※ふたベジ…双葉学級で育てた野菜の総称
(子どもたちが名付けました)

実施学年：第一学年～第六学年
(双葉学級)

実施時期：4月～7月

教科：生活単元学習

活動の概要

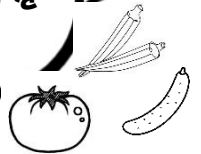
昨年度、生活班グループ(6人×4班)で【来年育てたい夏野菜】を話し合っ決めてました。今年から、屋上の畑を使用し、キュウリ・トマト・オクラを育てました。草取り、畝作りをしてから苗を植えました。週に1回水やりや草取り等をして成長を見守りました。収穫した野菜は、家に持ち帰り各家庭で食べました。

振り返りでは、(1)収穫の量(2)味(3)来年も育てたいの観点から3種類の野菜それぞれを評価しました。

調理学習では、自分たちで育てたキュウリやトマトを使い作りました。5・6年がパンやマーガリン、レタス等をスーパーに買いに行きました。

学習計画(全11時間)

- ①畑の畝づくり
- ②苗植え
- ③～⑨野菜の観察・収穫
- ⑩ふりかえり
- ⑪調理学習(サンドウィッチを作ろう)



学習の様子



ほくは来年オクラを育てたいな。



大きくなってね～!



大きいキュウリができたよ!

ねこの手で野菜をおさえるよ。



何をささもうかな～～



学習を終えて

昨年度までは「あまり陽の当たらない畑」で野菜を育てていたのので、収穫量はいまいち…。今年度は、昨年度の振り返りから「陽当たりのよい屋上の畑」に場所を移したことで、野菜がたくさん収穫でき、大成功!大満足!の様子でした。きゅうりが苦手な子でも、「自分で育てた野菜だから。」「みんなと一緒に食べるサンドウィッチはおいしい!」と言いながら食べていました。今回は、1学期初めての調理ということで『火を使わないメニュー』でサンドウィッチを指定しましたが、調理に慣れてきたらグループで話し合っ『育てた野菜で作りたいメニュー』を決めさせると意欲の向上につながるのではないかと考えます。

ふたベジを 育てよう2

※ふたベジ…双葉学級で育てた野菜の総称
(子どもたちが名付けました)

実施学年：第一学年～第六学年
(双葉学級)

実施時期：5月～12月

教科：生活単元学習



学習計画(全8時間)

- ①畑の畝づくり・苗植え
- ②～⑥水やり・観察
- ⑦収穫
- ⑧調理学習(スイートポテト)

活動の概要

市の畑を借用し、サツマイモとトウモロコシ(爆裂種)を育てました。

月に一度、徒歩15分ほどの畑まで行き、観察や間引き、ツル返し等を行いました。10月下旬に収穫をしました。

児童のリクエストにより、収穫したサツマイモで「スイートポテト」を作ることに決めました。必要な牛乳や砂糖、バター、アルミカップを4・5・6年生がスーパーに買いに行きました。縦割り班ごとに家庭科室で活動を進め、自分たちが育てた野菜の美味しさを実感することができました。

ふたベジの農作業を通して、勤労の尊さと生産の喜びを味わわせることができたのではないかと考えます。

大きなさつまいも
が掘れたよ！

学習の様子



バターは
どこかな。



手作りのスイート
ポテトはおいしいね！



学習を終えて

今年度は植え付け後の水やりを頻繁に行ったことで、たくさんのさつまいもが収穫できました。月に一度、史跡公園横の畑に行き、野菜に関する学習の他にも、史跡公園や地域の方への親しみを養うことができました。縦割り班ごとに買い物学習や、調理学習をしたことで、上級生が下級生に教えてあげる姿や、自分たちで主体的に行動する姿が見られ、「協働する力」につながったのではないかと思います。野菜を育てる⇒収穫⇒調理学習の流れが来年度以降もできると、美味しい野菜をたくさん栽培・収穫する工夫や安全に調理する方法などを見童が主体的に考えられるようになり、「ふたベジ」の活動がより活性化するのではないかと考えます。

I・IV・V・Iの和音で旋律づくり

～国分寺市60周年CMソングをつくろう～



活動の概要

国分寺市は、今年度、市制施行60周年を迎えました。この記念すべき年を盛り上げるために、5年生は、国分寺市のCMソングをつくることにしました。

付箋を貼りかえながら、音を出してどんどん試そう！

学習計画(9時間扱い)

- ①和音ってなんだ？
- ②和音の響きを感じ取ろう
- ③和音の構成音で遊ぼう！
- ④和音と旋律との関わり【四小校歌】
- ⑤即興演奏にチャレンジ
- ⑥キャッチフレーズにリズムをつけよう
- ⑦旋律をつけてみよう
- ⑧全体のまとまりを意識してCMソングを完成させよう！
- ⑨完成したCMソングを歌ってみよう

学習の様子



みんなでキャッチフレーズにリズムをつけよう！



4人で旋律をつなげてみよう。どんな曲になったかな？



みんなが楽しそうだったので、先生たちも思わず、つくりたくなっちゃった！



- ★だれでも簡単にできる♪
- ★友達と相談してOK♪
- ★旋律がつながるまでドキドキ♪

学習を終えて

8作品×5クラス分、全40曲のCMソングが出来上がりました。CMソングは、歌って録音をしました。1学期最後のお昼の放送で、全校児童に聴いてもらいました。「みんな違っておもしろい。難しかったけれど、友達とつくりてうれしかった！」と、互いを認め合い、伝え合う力がレベルアップしました！

I love my town. ～国分寺の魅力を伝えよう！～

実施学年：第五学年

実施時期：10月

教科：外国語科

活動の概要

国分寺の魅力を紹介するポスター作りを行いました。総合的な学習の時間に実際にフィールドワークに出かけて集めた情報や写真を基に、学習した英語の表現を用いて、グループごとにポスター作りをしました。

学習の様子

【導入・習熟】 BINGO



国分寺には、library
や park があるね!

お寺は何と言うんだっけ?

Quiz



We have a city hall.

It's new!

学習計画(8時間扱い)

- ①導入・国分寺にあるもの BINGO
- ②③語彙・表現練習
(国分寺にあるもの Quiz、
ジェスチャーゲーム、以心伝心ゲームなど)
- ④お気に入りの写真紹介
(フィールドワークで撮ったもの)
- ⑤⑥⑦ポスター作り・ポスター発表練習
- ⑧ポスター発表・学習のまとめ

【活用】

お気に入りの写真紹介



We have Koku Vege.
We can eat delicious vegetables.



We have Kurogane Park.
We can enjoy roller slide. It's

グループでポスター作り



"Let's enjoy Musashi
Kokubunji Park!" って書
くのはどうかな?

国分寺の魅力を発信するには、
どんな写真や英語を使ったらいいかな?

【まとめ】

ポスター発表



We have Ota Cafe.
We can see nature.



We have Otaka's
Path.

ポスター掲示



掲示したものを English Caravan
の先生方にも見ていただき、コメント
をいただきました。



学習を終えて

総合的な学習の時間と教科横断的に実施できたことで、総合の時間に発見した国分寺の魅力を発信したいという思いをもってポスターをつくり、発表に取り組むことができました。また、自分たちで伝え合うだけでなく、で来校した外国人イングリッシュ・キャラバンの先生方に実際にポスターを見てコメントをいただいたことで、「外国の方にも伝わった!」という達成感を感じることができました。

およその面積と体積

～国分寺の色々な面積を調べよう～

実施学年：第六学年

実施時期：10月

教科：算数科

活動の概要

「およその面積と体積を求めよう」は、通常は東京ドームや北海道の面積を求めるが、今回は、母校や近所の公園など、身近な場所の面積を求めた。

取り組んだ問題

(1) 四小の面積は？



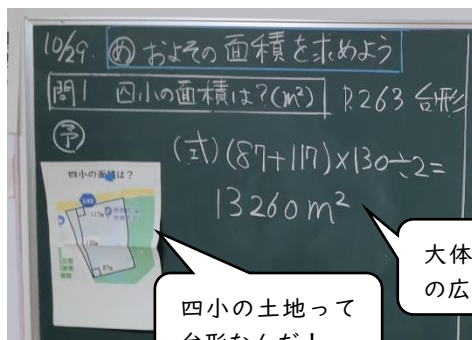
(2) 武蔵国分寺公園の面積は？



(3) 国分寺市の面積は？



学習の様子



四小の土地って台形なんだ！

大体思った通りの広さだ～。

この部分は三角形として計算しよう。



国分寺市って複雑な形だな～。

学習を終えて

<児童感想>

- ・いつも行っている場所の面積を求めるのは楽しかった。
- ・国分寺市の形が複雑で大変だった。
- ・自分の計算で実際の面積に近い値が出せてうれしかった。

<教員感想>

- ・大変な計算を要する課題だったが、子どもたちは意欲的に取り組んでいた。地域教材の力を感じた。

エコバッグの デザイン画づくり

実施学年：第四学年

実施時期：9月

教科：図画工作科

活動の概要

4年生の環境学習の取組と連携し、これまでに蓄積されてきた調べ学習の内容や資料を基に、エコバッグのデザイン画づくりに取り組みました。

デザイン画の中に、①よりよい環境づくりへのメッセージを入れること、②文字の入れ方やメッセージを生かす彩色を工夫して絵に表すことを、めあてにしました。

学習の様子

児童一人ひとりが興味をもって調べてきたことをもとに、伝えたいことを考えて、思いを込めて、絵に表しました。

文字の書き入れにはやや難しさがありました。文字の大きさや文字の形のとり方、配置の仕方などを、書いたり消したりしながら粘り強く取り組む子どもたちの姿がありました。

学習を終えて

子どもたちは環境学習の取組の中で、個人またはグループで、協力してテーマを追究してきているため、バッグの図柄づくりでは、すぐに絵を描きはじめていました。

伝えたいメッセージについても、大切にしたい気持ちを伝えようと、自分の言葉で主体的に考えながら取り組みを進めていく姿がありました。

学習計画(3時間扱い)

- ① 題材の導入
→4年生の環境学習のテーマをもとに、絵に表したいことを考える。
→伝えたい『メッセージ』を考える。
- ② 製作する
→絵と文字の組み合わせを考えて、アイデアスケッチする。
→ペンや色鉛筆、絵の具の使い方を工夫して、絵と文字で表す。
- ③ 鑑賞会→表し方の工夫やよさを友達と見合う。



墨と水から広がる世界 ～わたしのまち国分寺～

実施学年：第六学年

実施時期：10月

教科：図画工作科

活動の概要

6年生の国分寺学の実践と連携し、これまでに蓄積されてきた調べ学習の内容や資料を基に、和紙に墨で表現しました。昨年度は『ポスター』を製作し、今年度は『こち国』動画の作成に取り組んできました。そこで、『わたしのまち国分寺』をテーマとして、墨と水を使って、思いを広げて絵に表すことを、めあてにしました。

学習の様子

これまで調べてきたことやタブレットに撮りためてきた写真等をもとに、“事柄、場所、もの”などから、思いを広げて絵に表しました。

はじめに別紙で墨色や筆づかいを試してみよう。



墨と水でどんな形や色が見つかるかな…。



学習計画(6時間扱い)

- ① 題材の導入
→描きたい『事柄や物』選ぶ。
→墨と水で試しながら、表すことを楽しむ。
- ② 製作する
→和紙の上下左右に平竹で枠をつくる。
→墨と水、筆を用いて、試しながら、表現方法を考える。アイデアスケッチする。
→墨と水で、思いを広げながら絵に表す。
- ③ 鑑賞会→互いの工夫やよさを見合う。
- ④ 展示する(全員展示)→他学年へ発信。

描きたいことに合わせて、筆を選んだり墨と水の量を調節したりして描こう。



学習を終えて

「おばあちゃんが育てた国ベジをもらってきたことを絵にしたい」「国分寺の七重の塔を絵の中で再現しよう」「蛍が生まれる川を大切にしていきたい」と“伝えたい思い”が生まれる取組になりました。



整理整とんで快適に

実施学年：第五学年

実施時期：6月中旬

教科：家庭科

活動の概要

お道具箱の整理・整とんで出たごみや家庭で出る身近なごみに着目し、国分寺市の分類方法や捨て方の注意点を「ごみ・リサイクルカレンダー」「国分寺市ごみ分別辞典」を使って確認しました。

学習の様子

○お道具箱の整理・整とん（前時②③）



【 整理・整とん前 】



【 中身の分類 】



【 整理・整とん後 】

○国分寺市のごみの分類と捨て方の注意点（本時④）

スティックのりの容器は
何ごみだろう？

分からない分別（？）が
いくつかありました



【 グループでの話し合い 】



【 分類の予想 】



【 資料を使っでの確認 】

学習を終えて

ごみについては、4年生の時に社会科と総合的な学習の時間で学習しましたが、分類の間違いや分からないことがありました。分類を確認して捨てなければいけないことや正しい方法で捨てることで、再利用されたり、資源として再生利用されることを確認しました。今まで家族にやってもらっていたごみの分類やごみ捨てを自分から進んで取り組みたいという意欲的な意見が多く見られました。